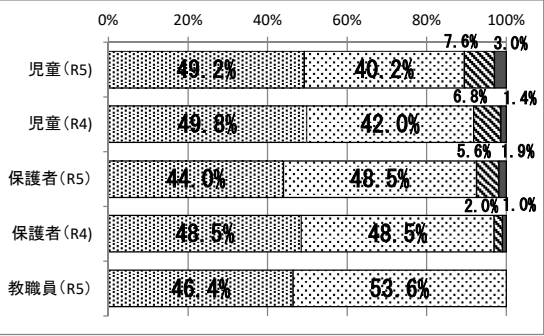
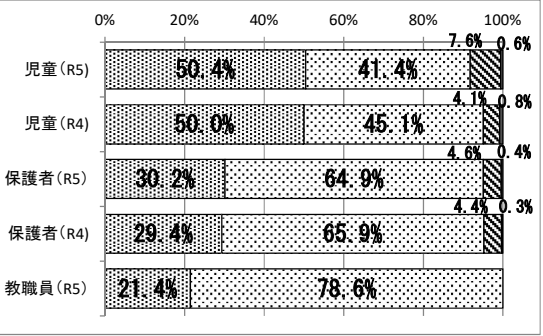


学校教育目標「**学び合い、高め合い**、心豊かでたくましい子どもの育成」に関する質問項目

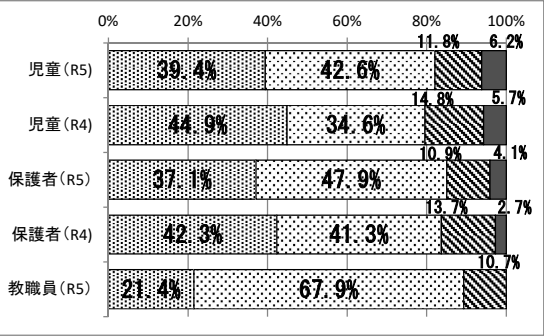
1. 学校生活は楽しい。



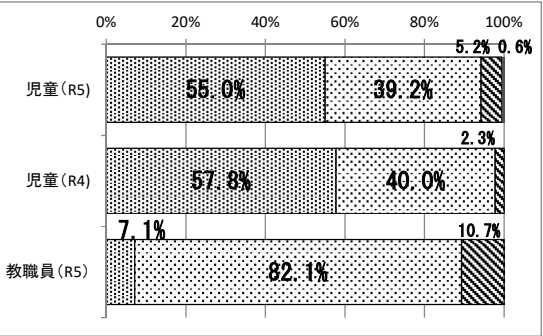
2. 授業の内容がよくわかる。



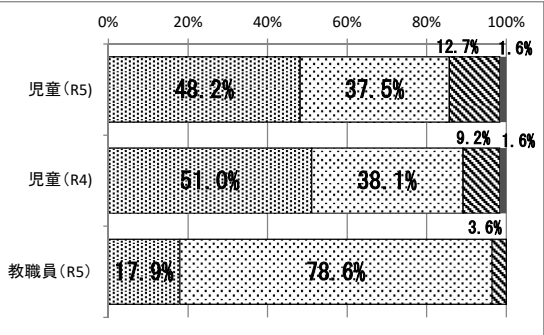
3. 毎日、進んで家庭学習に取り組んでいる。



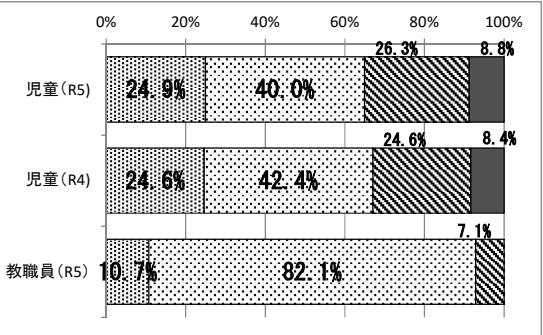
4. 先生や友だちの話をよく聞いている。



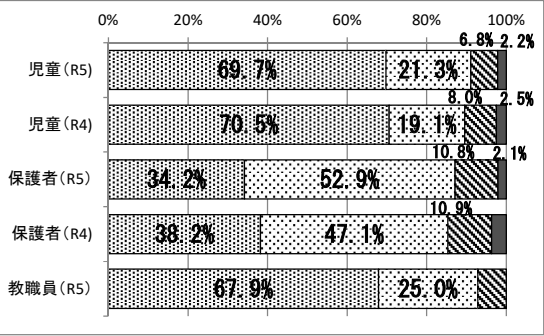
5. 自分の考えをもって、友だちと話し合える。



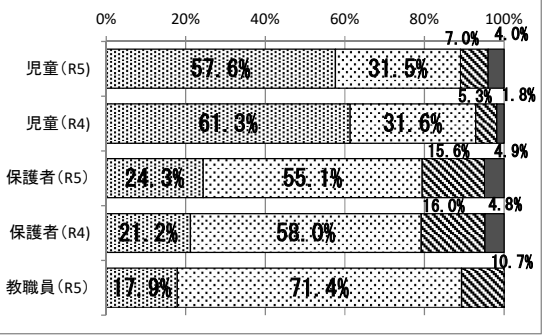
6. 「つなぎ言葉」を使って、友だちの意見につなげて発表している。



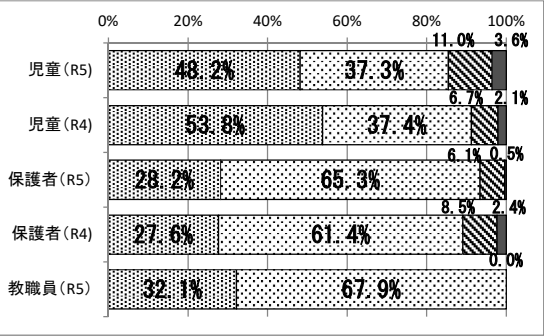
7. パソコンやタブレットを使って学習することが好きである（児童）。
高洲小学校は、パソコンやタブレットを使った学習に取り組んでいる（保護者・教職員）。



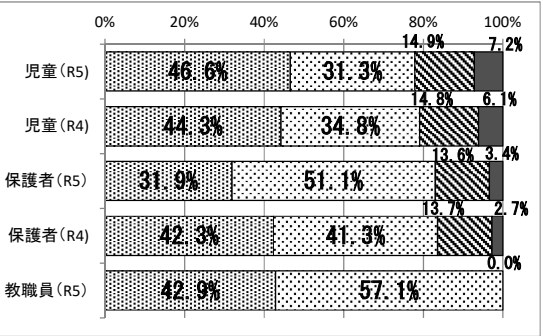
8. パソコンや携帯電話、ゲームを使う時のルールや約束を守っている。



9. 教科によっていろいろな先生に教わることは、学習内容の理解につながっている。

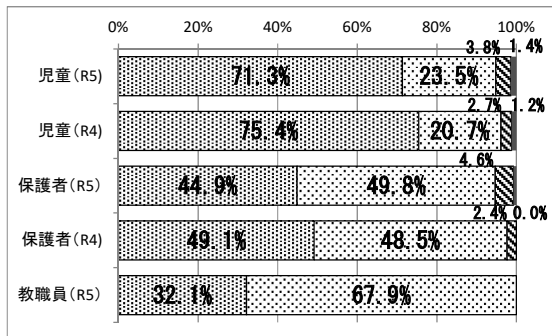


10. 外国語の授業は楽しい。

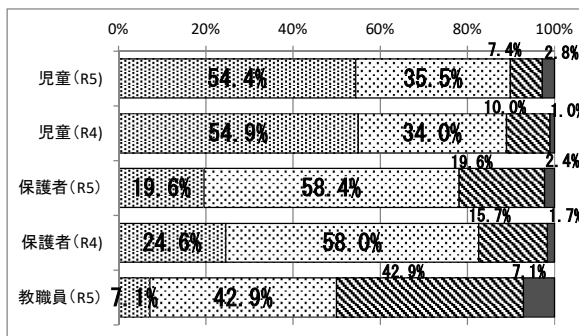


学校教育目標「学び合い、高め合い、**心豊か**でたくましい子どもの育成」に関する質問項目

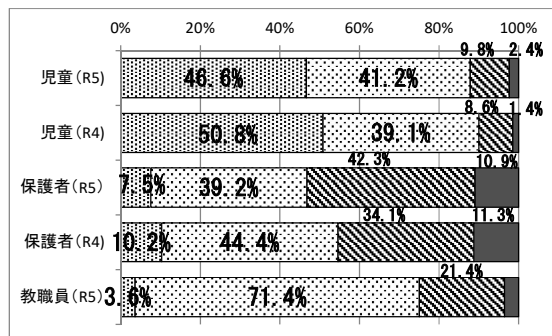
1 1. 友だちと仲良くできる。



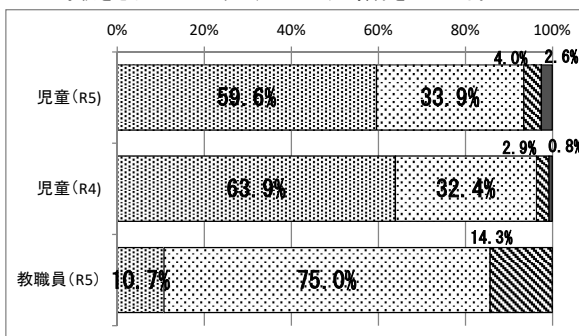
1 2. 進んであいさつや返事をしている。



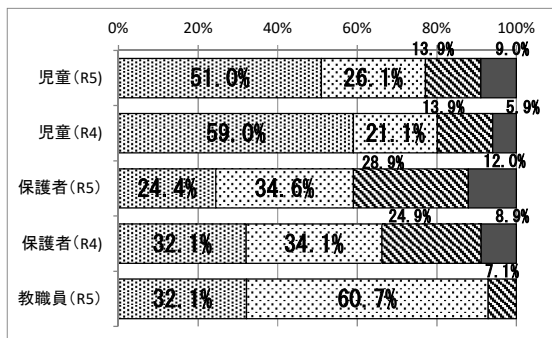
1 3. 身の回りの整理整頓をきちんと行い、学校や教室をきれいに使っている。



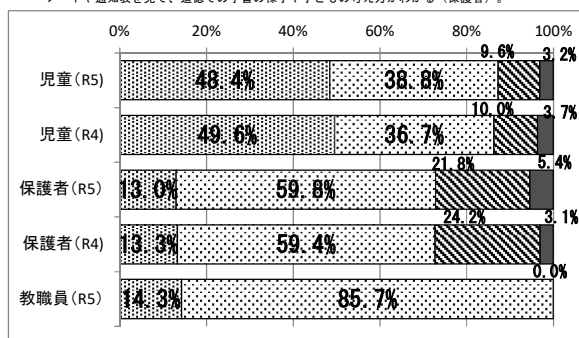
1 4. 学校をきれいにしようと、しっかりと掃除をしている。



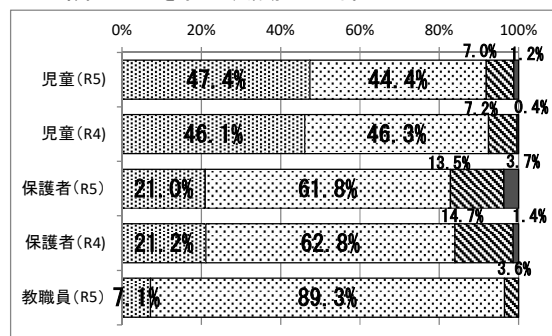
1 5. 本を読むのが好きである。



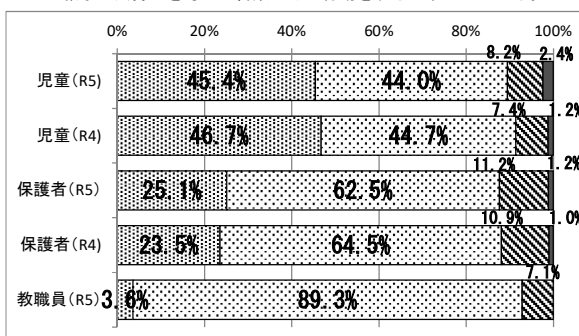
1 6. 道徳の学習で、「これからこうしていきたい」という思いをもつことがある（児童）。
ノートや通知表を見て、道徳での学習の様子や子どもの考え方がわかる（保護者）。



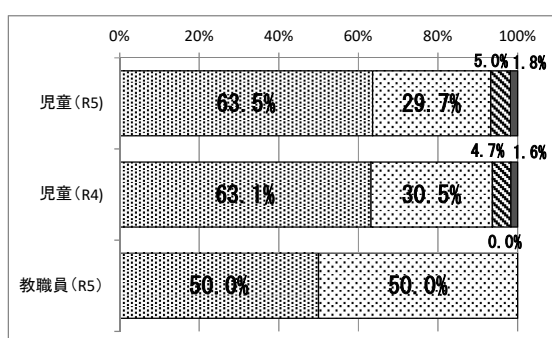
1 7. 時間やルールを守って、活動している。



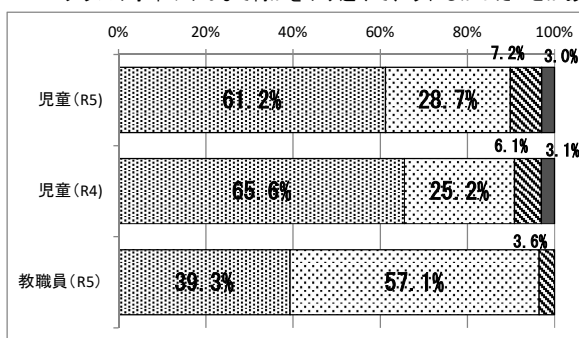
1 8. 相手の気持ちを考えた言葉かけや行動をするようにしている。



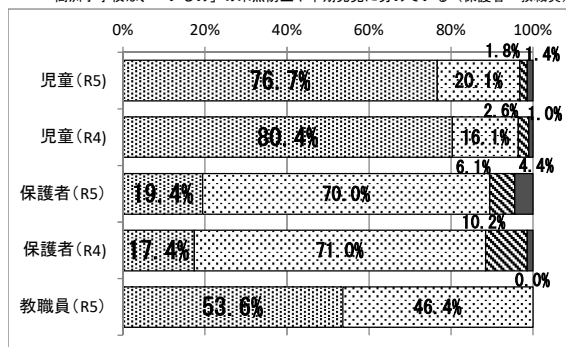
1 9. （1～3年生）上級生は親切にしてくれる。（4～6年生）下級生に親切にしている。



2 0. クラスや学年のみんなで何かをやり遂げて、うれしかったことがある。

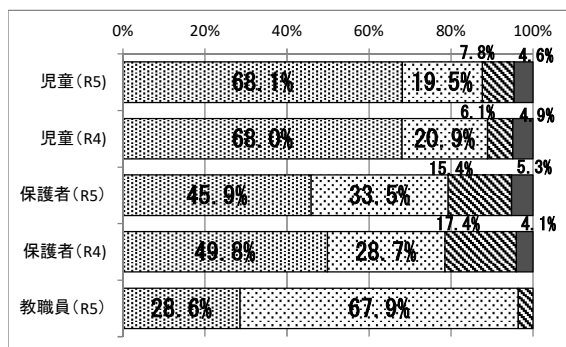


21. いじめは、どんな理由があっても、いけないことだと思っている（児童）。
高洲小学校は、「いじめ」の未然防止や早期発見に努めている（保護者・教職員）。

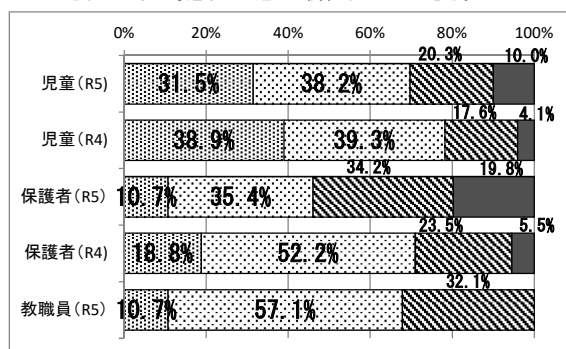


学校教育目標「学び合い、高め合い、心豊かで**たくましい子どもの育成**」に関する質問項目

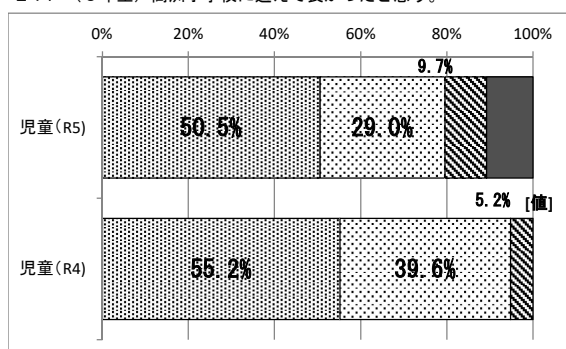
23. 運動やスポーツをすることが好きだ。



25. 地域の人など身近な人と進んで関わることができる。



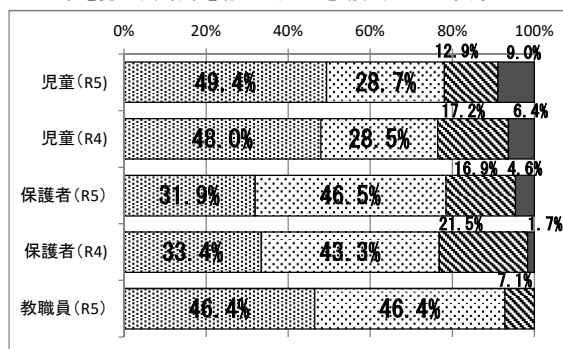
27. （6年生）高洲小学校に通えて良かったと思う。



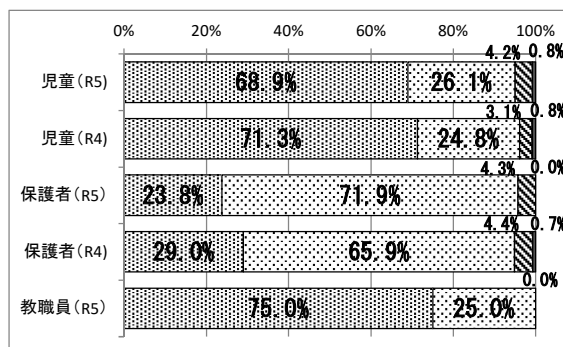
学校関係者評価委員の皆様からの意見

- ・学校行事やPTA活動の多くが再開でき、よかった。回答は、コロナ禍前の学校生活との比較も考えられるので、学校生活や行事等の精選や充実度について検討を続けてほしい。
- ・「心の豊かさ」を育む指導が充実したことが結果から読み取れる。今後も指導の充実を継続してほしい。
- ・「身の周りの整理整頓」についての質問では、児童と保護者との回答に差がある。子どもたちの学校での姿、家庭での姿がそれぞれであり、実態がよく表れていると感じた。
- ・「外国語の学習」については、先生方の指導も試行錯誤しながらの状態ではないかと思われる。子どもたちが「楽しさ」と「学び」を実感できるよう、より一層の充実が求められる。
- ・「高洲小学校に通えてよかった」の否定的な回答が、R4より増加している。学校としてしっかり分析し、次年度以降につなげてほしい。
- ・保護者対象のアンケートを2回実施するなど、学校評価を教育活動にいかしていこうとする学校の姿勢を感じたので、継続してほしい。

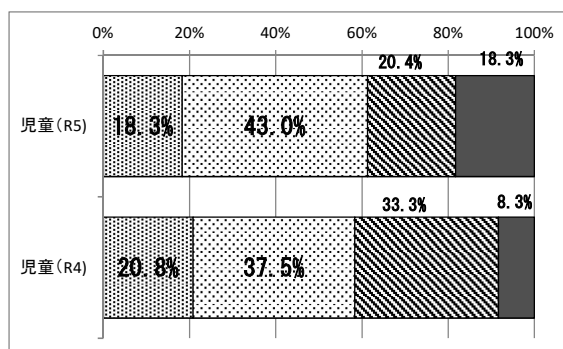
22. 絵を見たり、音楽を聴いたりして感動することがある。



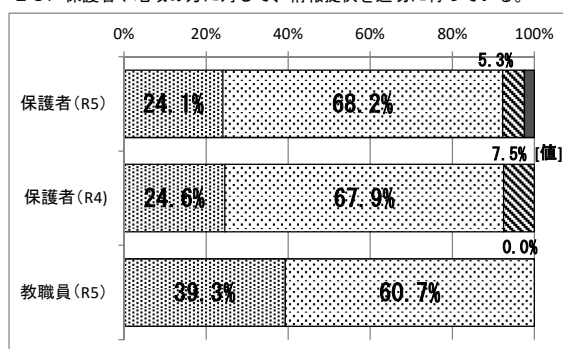
24. けがや事故がないよう安全に気をつけている。



26. （6年生）中学校と交流することで、中学校への進学不安が少なくなった。



28. 保護者や地域の方に対して、情報提供を適切に行っている。



「子どもをよりよく育てる」ためのアンケート（学校評価アンケート）の結果について

1 目的

- (1) 学校が自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校が自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表により、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

2 実施日

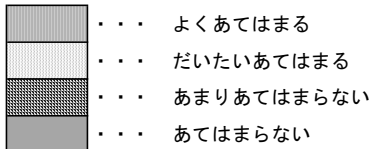
児童 12/18（月）～22日（金）
 保護者 12/18（月）～31日（日）
 教職員 12/18（月）～22日（金）

3 回収率

		R5	R4
児童	502名/539名	93.7%	89.8%
保護者	267名/431名（家庭数）	61.7%	64.9%

4 回答と結果について

- ・ 質問に対しての回答は「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4択とし、児童は質問に対して、保護者は「お子さんは」もしくは「保護者は」と、教職員は「高洲小学校の児童は」「高洲小学校は」と主語を置き換えて回答する。
- ・ 別紙のグラフは回答の割合を示すものとし、グラフの色のパターンは以下のとおりである。



- ・ 「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的な回答、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的な回答として考察する。

5 結果と今後の取り組みについて

(1) 学校教育目標「学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成」に関する質問項目について

- ・ R4に比べ、児童の肯定的な回答の割合が増えたのは、質問の3、7である。（R4は、3つ）
- ・ R4に比べ、児童の肯定的な回答の割合が3%以上減ったのは、質問の2、4、5、8、9である。（R4は、3つ）
- ・ R4に比べ、児童の肯定的な回答の割合がもっとも大きく減ったのは、質問9である。（-5.7%）
- ・ 児童と教職員との回答の差が大きくみられるのは、質問6である。（回答値差 27.9%）
- ・ 児童・保護者と教職員との回答の差が大きくみられるのは、質問10である。（回答値差 約30%）

→ 肯定的な回答の割合が減った項目数は増えたが、概ね昨年度と同様の結果ととらえられる。

質問6、10のように、子どもたちの感じ方と、教職員のとらえ方に差が生じている点を教職員が認識し、教材研究や指導法の工夫をしていく。

質問9では、指導や関わり方において、教職員ごとに違いがある点が一因と思われるので、指導法や関わり方の共通性を保つ。

(2) 学校教育目標「学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成」に関する質問項目について

- ・ R4に比べ、児童の肯定的な回答の割合が増えたのは、質問の12、16、19、21、22である。（R4は、1つ）
- ・ R4に比べ、児童の肯定的な回答の割合が3%以上減ったのは、質問の15である。（R4は、3つ）
- ・ 「12. 進んであいさつや返事をしている」の保護者の肯定的な回答の割合が、第1回目より減った。（-2%）
- ・ 「13. 身の回りの整理整頓をきちんと行い、学校や教室をきれいに使っている」の児童と保護者との回答の差が見られる。（回答値差 41.1%）
- ・ 「21. 『いじめ』の未然防止や早期発見に努めている」に対して、児童・保護者ともに、肯定的な回答の割合が増えた。
- ・ 「21. 『いじめ』の未然防止や早期発見に努めている」に対して、保護者の肯定的な回答の割合が、第1回目より増えた。（+2.4%）

→ 本年度は「心の豊かさ」を育む指導が充実していたと考えられる。

質問12の教職員の回答から、さらに向上させていくべき点ととらえている。日常の取り組みや委員会活動の取り組みを充実させたい。

子どもたちの多様化するトラブルに対し、状況に応じ、柔軟な対応と根気強い指導により、肯定的にとらえられたと思われる。

(3) 学校教育目標「学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成」に関する質問項目について

- ・ R4に比べ「26. 中学校と交流することで、中学校への進学の不安が少なくなった」の肯定的な回答の割合が増えた。
- ・ R4に比べ、児童・保護者とも肯定的な回答が大きく減ったのは、質問25である。（児童-8.5%、保護者-46.1%）
- ・ R4に比べ、肯定的な回答の割合が大きく減ったのは、質問27である。（-15.3%）

→ 質問22,23ともに、昨年度と同様の結果であることから引き続き、運動の推奨及び、安全指導の充実を図っていく。

質問25は、本年度、質問文に「ボランティア」という具体的な言葉を入れたため、単純比較はできないが、今後充実させていくべき点と考えている。

CSの導入を機に、地域との連携、高洲中学校区の園小中連携の取り組みをより一層推進し、子どもたちの社会性を培う。